

1.1 「DADiSP インポート支援ツール」とは

これまで、手作業によって行われていた CSV 形式のファイルの DADiSP への読み込みを、VBA マクロにより自動的に DADiSP のラボブックもしくはワークシートに読み込む処理を行います。

この支援ツールでは、同じフォーマットのファイルであれば複数のファイルを一度に読み込むことができます。また DADiSP のデータを CSV 形式のファイルに保存することも可能です。

この支援ツールでは、次のようなケースなどに有効に対応できます。

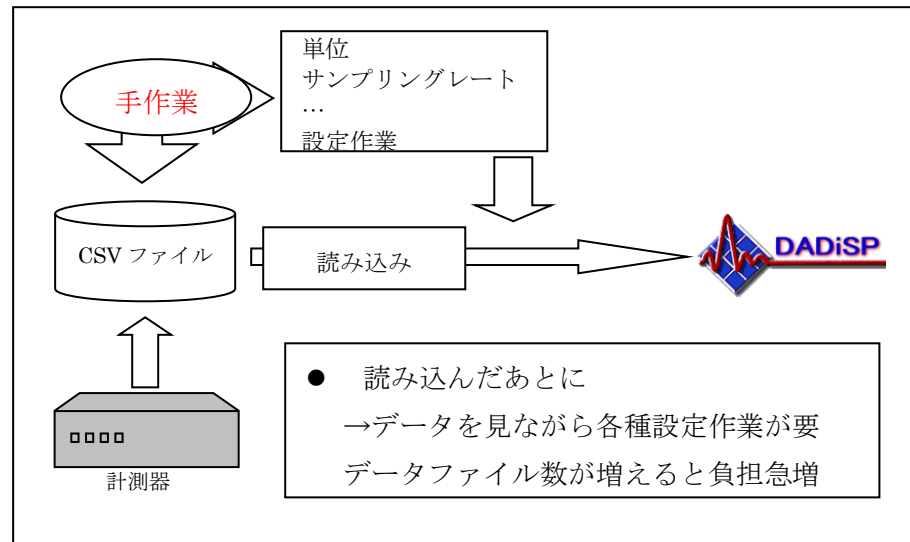
- 測定機器が DADiSP 対応のヘッダーファイルを出力できないが、テキスト形式のデータ出力は可能な場合。
- 測定機器より出力されるデータの形式は、分かっているがサンプリングレートや単位などが測定時に変更されていて、ヘッダーファイルを読み込む度に修正する必要がある場合。

1.2 こんなときに

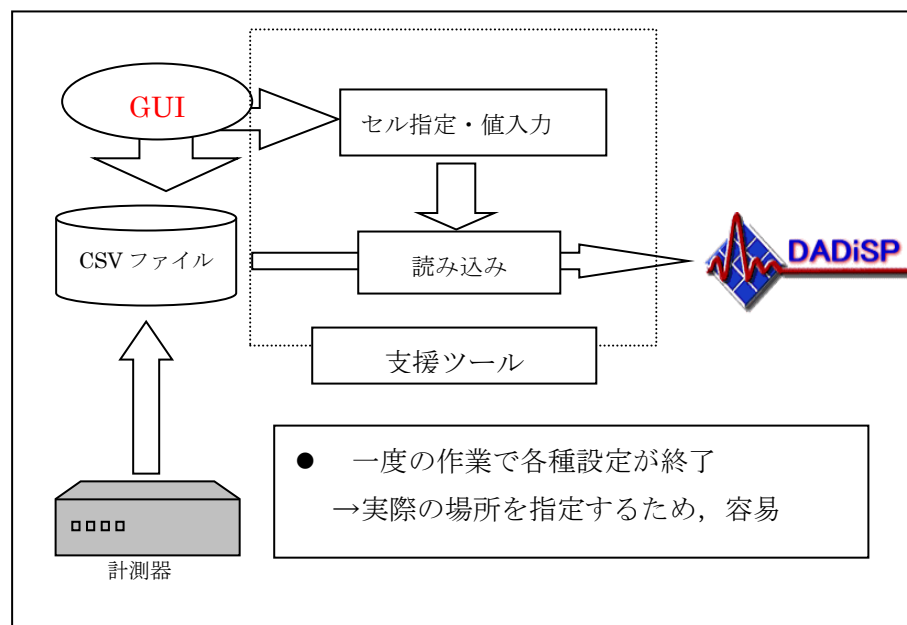
(1) アスキーファイルを読み込んだが…

単位の設定、オフセットの設定、サンプリングレートの設定をそれぞれ実行するのが面倒.

- 通常の作業だと…



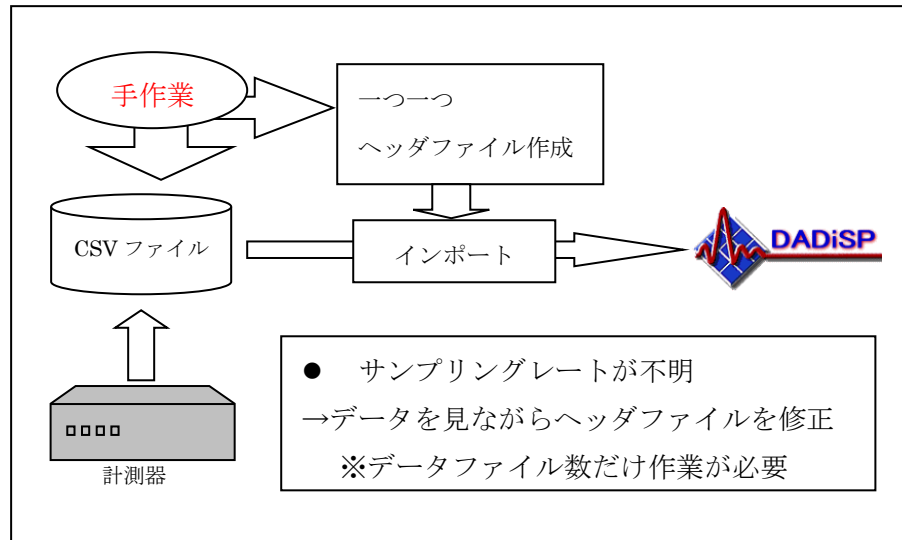
- 本支援ツールを使うと



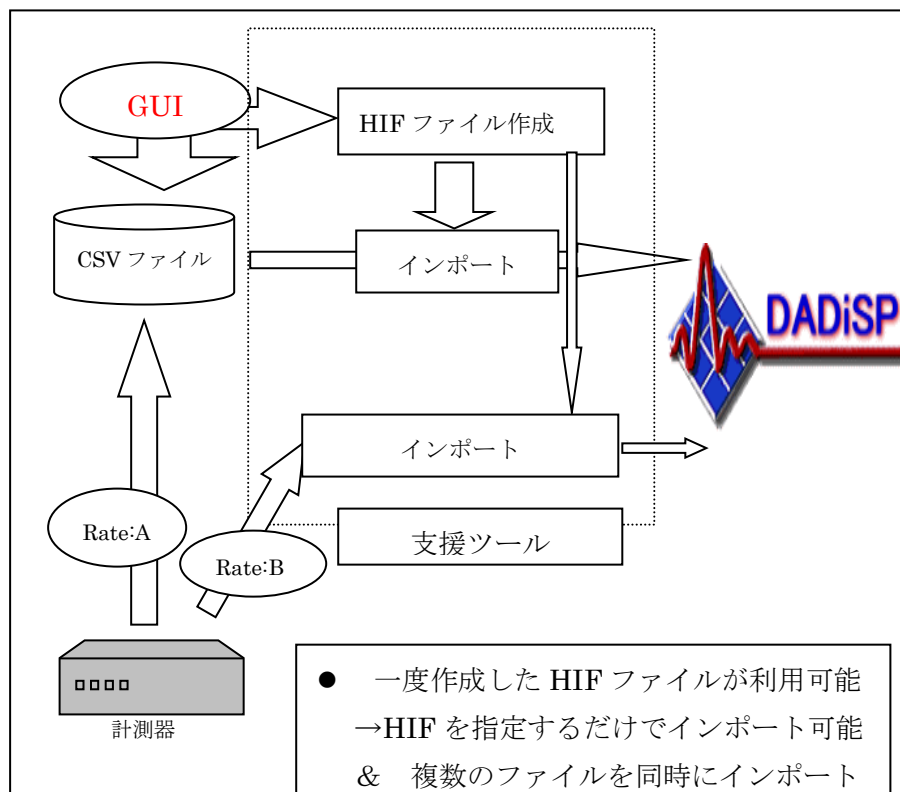
(2) 同じ計測器のデータだが、サンプリングレートが不明…

一つ一つのファイルを見ながら、ヘッダファイルを作成するのが面倒。

- 通常だと…

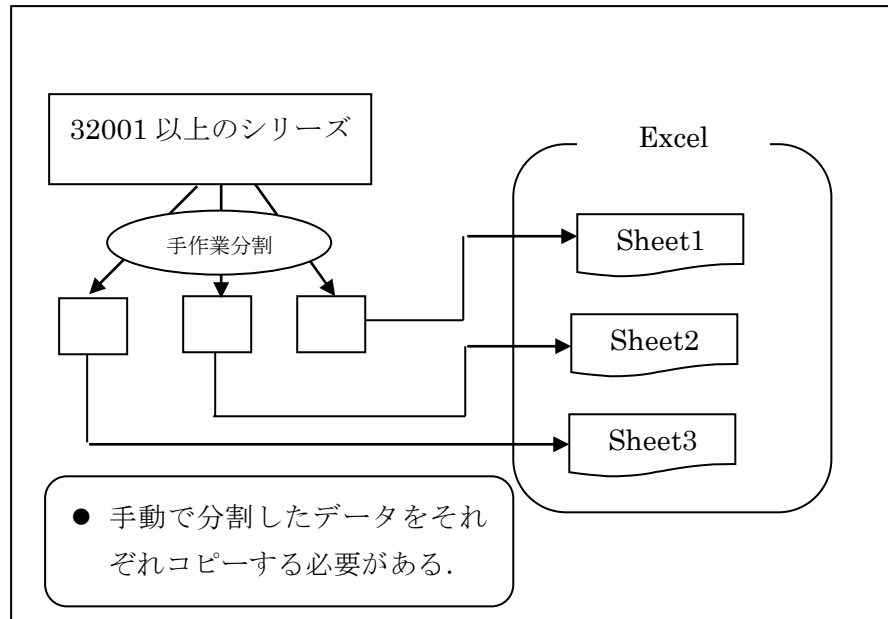


- 本支援ツールを使うと

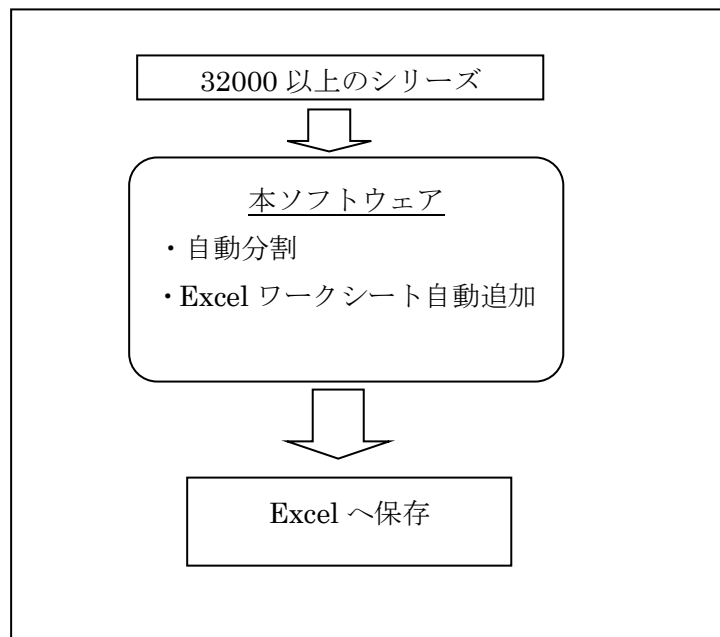


(3) エクセルにデータを移したいがグラフ描画上限の 32000 個を超えている…

- 通常だと…



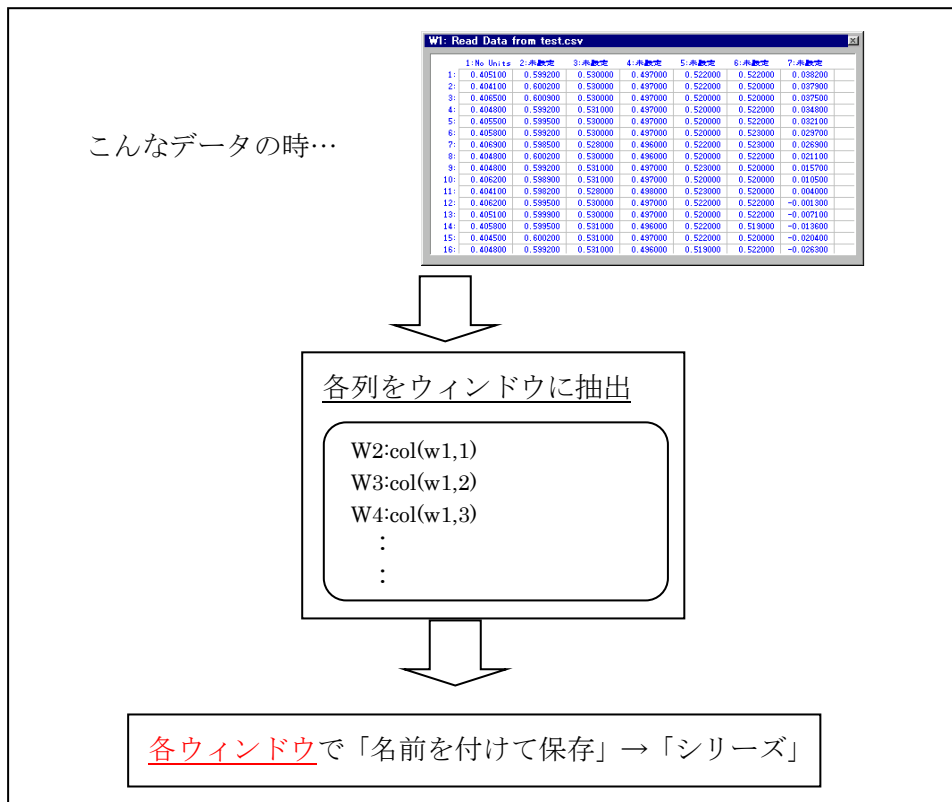
- 本支援ツールを使うと



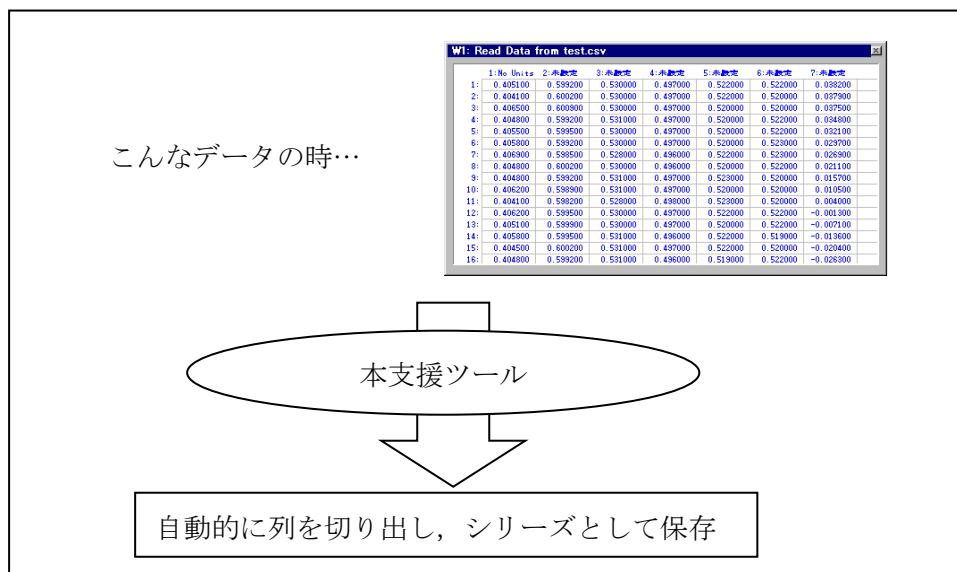
(4) テーブルデータをシリーズに保存したいが…

DADiSP では、テーブルデータを一度に保存することができません。これは、保存するコマンド (GUI) が、シリーズの保存しか用意されていないためです。

- 通常では…



- 本支援ツールを使うと



1.3 こんな機能が

■主な支援ツール

(1) CSV→DADiSP (Window) 読み込み (簡易版)

CSV 形式のファイルを DADiSP のウィンドウにデータとして読み込みます。

(2) CSV→DADiSP (DATASET) インポート (新規形式)

CSV 形式のファイルを DADiSP のデータセットにインポートコマンドを用いて読み込みます。また、Header Information File (以下 HIF : 拡張子「.hif」) を作成します。

(3) CSV→DADiSP (DATASET) インポート (登録形式)

CSV 形式のファイルを DADiSP のデータセットにインポートします。(2) で作成した HIF を用いてヘッダーファイルを作成し、同じフォーマットのファイルであれば、複数のファイルを一度に読み込むことができます。

■その他の支援ツール

(4) ExcelSheet→DADiSP (Window)

Excel のワークシート上にすでにあるデータを DADiSP のウィンドウに読み込みます。

(5) DADiSP (Window) →ExcelSheet

DADiSP2000 のウィンドウにあるデータを Excel のワークシートに出力します。

(6) DADiSP (DATASET) →ExcelSheet

DADiSP のデータセットを Excel のワークシートに出力します。

(7) ExcelSheet→DADiSP (DATASET)

DADiSP のウィンドウにあるテーブルの各列をシリーズとして保存します。

1.4 使用環境

DADiSP インストール済みの Windows11 以上の PC であり、MicroSoft Excel , Excel VBA, ActiveX が使用可能な PC 環境。

本製品に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

株式会社 CAE ソリューションズ

<https://www.cae-sc.com>

E-Mail:dsp_support@cae-sc.com